

「深川散策」

H.Tashiro

1. 日 時：2024年3月12日（火）10:20 集合 ⇒ **3月13日（水）**に順延
2. 集 合：東京メトロ「門前仲町駅」1番出口（深川不動堂が一番近い出口）
3. コース：門前仲町駅 ⇒ 永代寺 ⇒ 深川不動堂（11時から御護摩焚き）
⇒ 昼食（11:50～12:50） ⇒ 富岡八幡宮 ⇒ 深川江戸資料館
（13:20～14:00） ⇒ 霊巖寺 ⇒ 清澄白河駅 15:00頃解散
☆集合場所～解散場所まで約2km（境内、館内散策は距離に含まず）

★集合場所地図参照 図の赤丸

- ・東京メトロ東西線「門前仲町」1番出口 赤い鳥居の下に集合
- ・都営地下鉄大江戸線利用の人は3, 4, 5番出口（門仲交差点）から永代通りを東方向に200m程移動



4. 参加費：入場料など各自支払い
深川江戸資料館 400円

5. その他 ・昼食は周辺の店で各自 次の案は深川めし店

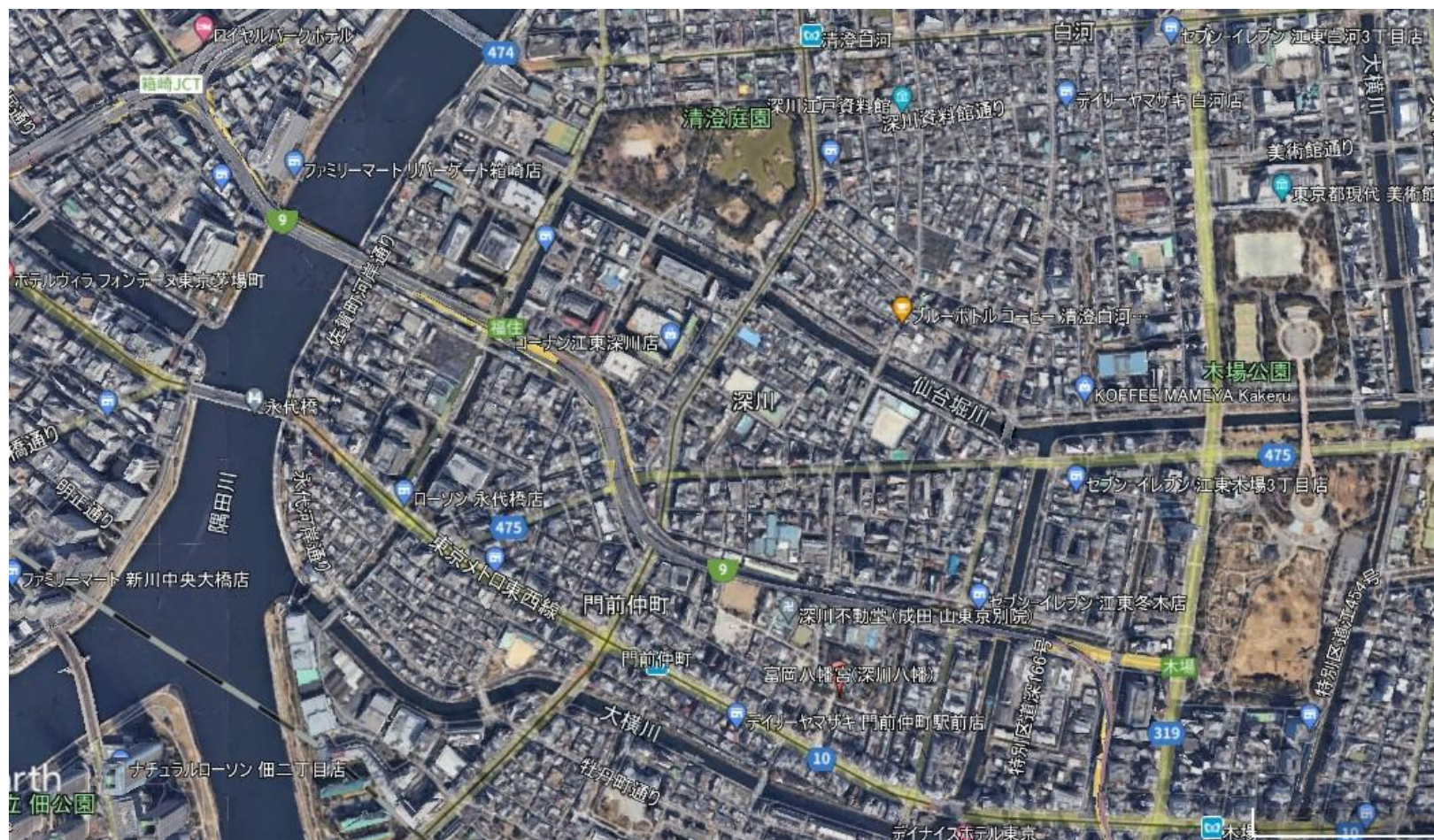
（案1） 深川宿 富岡八幡店 03-5646-8678 <http://www.fukagawajuku.com/>

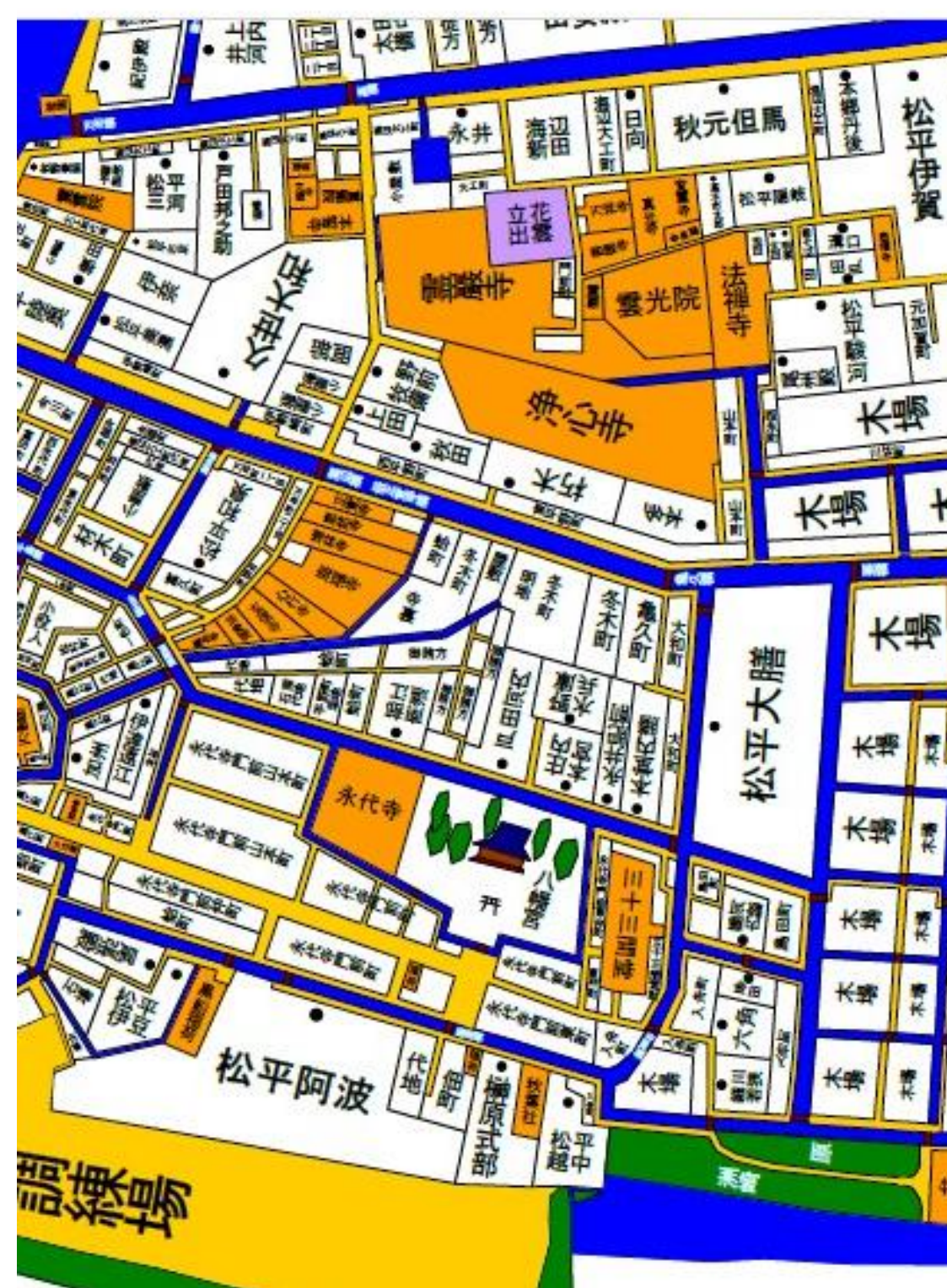
（案1-2） 深川宿本店 03-3642-7878

（案2） 深川釜匠（清澄白河）03-3647-4053 <https://a328700.gorp.jp/>

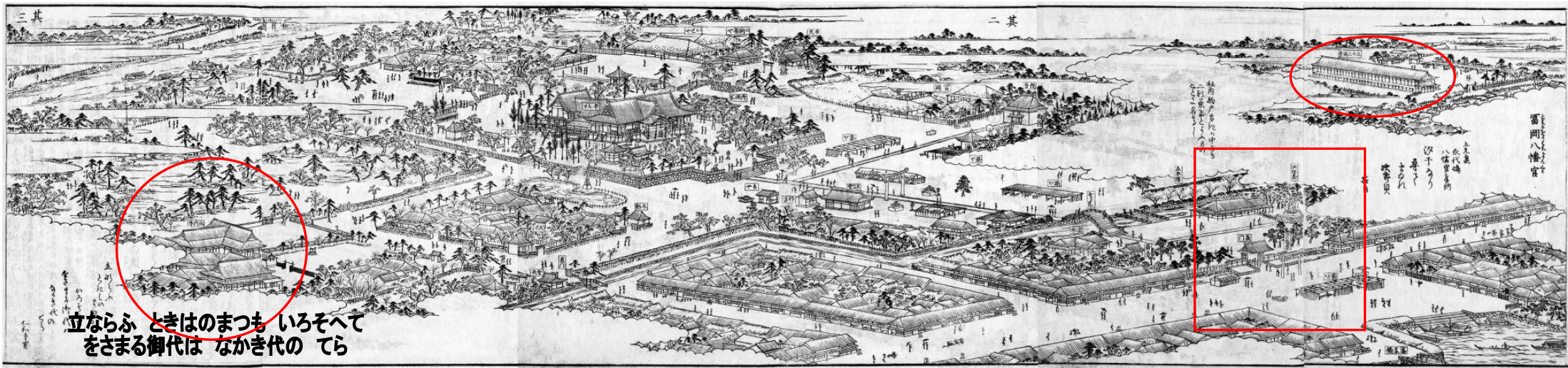
案1-2&2の場合、上記コースの時間帯が若干変更されます。

- 【参考】
- ・深川不動堂 <http://www.fukagawafudou.gr.jp/>
 - ・富岡八幡宮 <http://www.tomiokahachimangu.or.jp/>
 - ・深川江戸資料館 <https://www.kcf.or.jp/fukagawa/outline/>





- ① 永代寺
- ② 深川不動堂
- ③ 富岡八幡宮
- ④ 葛西橋通り
- ⑤ 木更木橋 (仙台堀川)
- ⑥ 浄心寺墓地
- ⑦ 深川江戸資料館
- ⑧ 靈巖寺



広重 名所江戸百景 深川八幡山開き (左) 深川三十三間堂 (右)

【永代寺】 富岡八幡宮の別当寺（補足1）として栄える。門前仲町の門前はこの寺に由来する。江戸時代、成田山の不動信仰が江戸庶民の人気に支えられ、元禄16年（1703）に本尊の不動明王像が成田山から運ばれ、ここで公開された。その後、江戸各地・各団体が成田不動信徒講社が構成され、出開帳はこの寺で何度も続けられた。



また、江戸六地藏（補足2）の内、第6番地藏が祭られていたが、明治元年（1868）に神仏分離令とそれにもとづく廃仏運動のなかで、永代寺は廃寺となり地藏は消失。現在の永代寺は明治29年（1896）に旧永代寺の塔頭（末寺、子院）の吉祥院が名称を引き継ぎ、再興された。旧永代寺の広大な敷地は深川不動堂、深川公園などとなっている。

（補足1） 別当寺とは、専ら神仏習合が行われていた江戸時代以前に、神社を管理するために置かれた寺のこと。神前読経など神社の祭祀を仏式で行い、その主催者を別当（社僧の長のこと）と呼んだことから、別当の居る寺を別当寺と称した。神宮寺（じんぐうじ）、神護寺（じんごじ）、宮寺（ぐうじ、みやでら）なども同義。

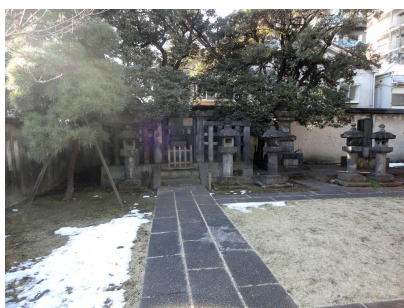
（補足2） 江戸六地藏は江戸の入り口6か所に安置。詳細は右QRコード参照
<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%B1%9F%E6%88%B8%E5%85%AD%E5%9C%B0%E8%94%B5>



番	巡拝	寺号	宗派	造立年	像高	現状	街道	所在地
第1番	第1番	品川寺	真言宗醍醐派	1708年(宝永5年)	2.75m	現存	旧東海道	品川区南品川三丁目 5-17
第2番	第4番	東禅寺	曹洞宗	1710年(宝永7年)	2.71m	現存	奥州街道	台東区東浅草二丁目 12-13
第3番	第2番	太宗寺	浄土宗	1712年(正徳2年)	2.67m	現存	甲州街道	新宿区新宿二丁目 9-2
第4番	第3番	真性寺	真言宗豊山派	1714年(正徳4年)	2.68m	現存	旧中山道	豊島区巢鴨三丁目 21-21
第5番	第5番	靈巖寺	浄土宗	1717年(享保2年)	2.73m	現存	水戸街道	江東区白河一丁目 3-32
第6番	第6番	永代寺	高野山真言宗	1720年(享保5年)	不明	なし	千葉街道	江東区富岡一丁目 15-1

【深川不動堂】 明治元年（1868）に永代寺が廃寺となり、不動明王の出開帳の場を失ってしまった。江戸時代から構成されていた成田不動信徒講社の人たちの強い働きかけで、明治14年（1881）永代寺跡地に不動明王御分霊が正式に遷座され、「深川不動堂」の名のもとに堂宇が完成。現在、成田山東京別院となっている。

【靈巖寺】 寛永元年（1624年）、雄誉靈巖（おうよれいがん）上人の開山により、日本橋付近の芦原を埋め立てた靈巖島に創建された。数年後に檀林（学問所）が設置され、浄土宗関東十八檀林の一つとなった。明暦3年（1657年）、明暦の大火により靈巖寺も延焼。境内や周辺で1万人近くの避難民が犠牲になったという。万治元年（1658年）に徳川幕府の火事対策を重視した都市改造計画の一環として、現在地に移転した。



【左】江戸幕府11代将軍徳川家斉のもとで老中首座として寛政の改革を行った陸奥白河藩の第3代藩主松平定信の墓。靈巖寺周辺の地名である白河は、定信に由来する。

【右】江戸六地藏の第5番

